



発行 社会福祉法人 尾張旭市社会福祉協議会

〒488-0074 尾張旭市新居町明才切57番地 保健福祉センター内 TEL 54-4540 FAX 51-1880

ホームページ <http://www.owariasahishakyo.jp/> 社協だよりやその他の社協情報はホームページでもご覧いただけます。

コロナ禍における災害ボランティアセンターの運営方法を考える



令和3年度災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催します

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

災害時にボランティア活動が迅速かつ円滑に行われ、被災地の速やかな自立支援ができるように、被災地に参集する多数のボランティアと被災者からの支援要請の調整を図るのが災害ボランティアコーディネーターです。

今年度の講座では、被災地の支援をされている認定NPO法人レスキューストックヤード浦野常務理事を講師に迎え、災害ボランティアセンターを運営する上で必要な感染予防対策を学ぶほか、令和2年7月豪雨で被害のあった熊本県の人吉市社会福祉協議会速永事務局次長からは、コロナ禍における災害ボランティアセンターの運営の実際について、オンラインで活動報告をいただきます。災害ボランティアコーディネーターの役割を学び、被災地へ笑顔を橋渡しできるような活動をしてみませんか。(詳しい日程等は4ページをご覧ください。)

contents (主な項目)

- 令和3年度災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催します
- 令和2年度社会福祉協議会事業報告及び決算
- あさひ支え合いサロン開設助成事業
- 令和3年度“あさひ生活応援サポーター養成講座”のご案内
- ボランティアセンターからのお知らせ
- 福祉のまちづくり推進助成事業助成団体を決定
- 知るサポだよりNo.25
- 敬老肖像写真を贈呈します
- 脳トレで認知症予防「脳の健康教室」でらくらく楽習
- 赤い羽根協力店を募集します
- 善意のご寄付ありがとうございます

令和2年度社会福祉協議会事業報告及び決算

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、理事会及び定時評議員会の開催を中止しましたが、理事及び評議員の全員の同意による書面決議を経て、令和2年度本会事業報告及び決算が承認されました。

■ 事業報告 ■

法人運営事業

理事会(3回)/評議員会(3回)/監査会(1回)/会員募集事業(一般2,443件、法人151件)/地域福祉活動計画推進会議(1回)・策定会議(4回)

企画・広報事業

第50回社会福祉大会開催(10人)※規模縮小(式典のみ)/社協だより発行(年4回、全戸配布)

福祉のまちづくり事業

校区社会福祉推進協議会助成(9校区)/ボランティア連絡協議会加入団体助成(22団体)/障がい者団体等支援(2団体)/福祉協力校助成(全小・中学校、旭野高等学校)/福祉実践教室開催(3校、344人)/フードドライブ事業(年2回)/災害用備品整備(防災服等35セット)

車いす等貸出事業

車いす貸出(延べ492台)/車いす専用車貸出(延べ65件)

ボランティアセンター事業

ボランティア相談(190件)/ボランティア登録(78団体1,913人、個人50人、40施設)/ボランティアサロン開催(7回、延べ66人)

共同募金配分金事業

敬老肖像写真贈呈(80歳以上夫婦9組、90歳以上長寿者9人)/ふれあいいいきいきサロン助成(4か所)/点訳・音訳・要約筆記サービス事業支援/おもちゃ図書館開設/社会を明るくする運動支援/私立幼稚園・保育園図書購入助成(10園)/民間学童クラブ助成(6施設)/子育てサロン支援(2か所)/福祉のまちづくり推進助成事業(3団体)/テーマ設定型事業(車いす14台購入)/要保護・準要保護家庭児童支援(750人)/児童養護施設の支援(72人)/活動助成団体及び施設(各校区社会福祉推進協議会、ジュニアリーダーズクラブ、ボーイスカウト、ガールスカウ

ト、交通少年団、ひまわり、くすの木、ちーとい、アトリエひまわり、ひまわりホームⅡ、ジョブウェル、にこまる、よつ葉ハウス、心暖、ホワイトB、ほまれの家尾張旭店、アニモホームゆうほう、アニモホームつばさ、すまいる、チャイルドサポート～森のまち～、おこめ、ミロアール、大和荘)

資金貸付事業

生活福祉資金貸付相談(1,573件)/ひまわり資金貸付相談(92件)/生活困窮者支援(フードバンク55回)

脳の健康教室運営事業(11人)

紙おむつ給付事業(769人)

日常生活自立支援事業

相談(30件)/利用者(10人)

生活支援コーディネーター事業

あさひ生活応援サポーター登録(78人)/あさひ生活応援サービス事業利用(延べ197件)/あさひ生活応援サポーター養成講座開催(1回、9人)/あさひ支えあいサロン開設助成(1か所)

居宅介護支援事業

介護サービス計画作成(利用者延べ1,775人)/介護予防計画作成

(利用者延べ338人)

地域包括支援センター事業

高齢者総合相談(延べ7,863件 ※うち、虐待・虐待の疑いを含む件数延べ821件)/認知症サポーター養成講座(6回、204人)/地域ケア会議(個別地域ケア会議6回、ケアマネジメント支援地域会議2回)/あさひ介護者のつどい(2回、18人)

認知症初期集中支援推進事業

チーム会議(10回)/支援対象者(6人※うち1人は支援継続)

指定介護予防支援事業

介護予防プラン請求(包括作成延べ3,357件、委託延べ6,117件)

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため延期または中止となった事業

地域福祉活動計画策定に係る校区懇談会/福祉マインドフェア尾張旭2020/ボランティア給食サービス宅配及び昼食会/福祉教育講座/災害ボランティアコーディネーター養成講座/男性のためのボランティア学校/クッキングボランティア講座/シニアクラブ連合会事業支援/ウェルフェアボウリング大会支援

■ 令和2年度 社会福祉協議会 収支決算 ■

収入 245,774,637円 支出 236,922,017円
差引 8,852,620円(令和3年度繰越金)

収入 (単位:円)		支出 (単位:円)	
収入	(単位:円)	支出	(単位:円)
会費	3,672,000	社会福祉事業	
寄附金	3,064,910	法人運営事業	76,186,057
経常経費補助金	69,061,363	企画広報事業	1,412,369
市補助金	64,394,412	福祉のまちづくり事業	4,879,017
共同募金配分金	4,266,951	ボランティアセンター事業	5,171,812
県社協補助金	400,000	共同募金配分金事業	4,811,392
受託金	104,232,667	資金貸付事業	9,600,327
市受託金	93,138,000	日常生活自立支援事業	668,171
県社協受託金	9,667,277	生活支援コーディネーター事業	7,027,177
その他	1,427,390	その他	724,016
貸付事業	413,050	公益事業	
介護保険事業	47,149,774	居宅介護支援事業	31,586,724
基金・積立金取崩収入	7,889,688	地域包括支援センター事業	94,854,955
前期未支払資金残高(前年度繰越金)	7,841,799	支出計	236,922,017
その他	2,449,386		
収入計	245,774,637		

※収入については、勘定科目ごとに、支出については事業内容ごとにそれぞれ取りまとめて掲載してあります。

地域のサロン活動の立ち上げを応援します!

～あさひ支えあいサロン開設助成事業～

この助成事業は、地域の高齢者やその介護者などの閉じこもりや孤立を防ぐため、集会所・ふれあい会館・個人宅などの場所を活用し、地域の皆さんによる出会いの場づくりを支援します。

【助成対象活動】市内で行う、次の要件のすべてを満たすサロン活動の立ち上げに対し、開設資金を助成します。

- ①実施回数：原則として、月1回以上
- ②活動内容：参加者の実情などに応じた多様な活動
- ③参加者数：概ね5人以上
- ④会場：公民館などの公共施設や個人宅など多様な形態で可
- ⑤参加対象者：活動地域に在住し、交流や見守りが必要と思われる高齢者やその介護家族など

【助成金額】1か所につき、上限5万円

サロン活動紹介⑥

【サロンアマビエ「出前カラオケ」】

令和3年2月に本事業を活用していただきました。



①活動拠点 ②活動日時 ③参加費 ④会費 ⑤活動内容 ⑥目的・特色

- ①本地原小学校区集会所
- ②毎月第3水曜日(午後2時～4時)
- ③1回100円 ④なし
- ⑤お茶を飲みながら懇談やカラオケ
- ⑥地域の皆さんに集まっていただき、出前カラオケを通じて楽しい時間を過ごしていただけたらいいなと思い開催しています。
お茶を飲みながら、集まった仲間とおしゃべりしたり歌をうたったりして一緒に楽しい時間を過ごしませんか。皆さんのご参加をお待ちしています。



あなたの思いやりとやさしさを地域の高齢者にお届けしてみませんか!

令和3年度“あさひ生活応援サポーター養成講座”のご案内

参加費
無料

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

本会では、地域の高齢者のちょっとした困りごとをお手伝いする生活応援サポーターを養成するため、下表のとおり講座を開催します。どなたでも受講できますので、ぜひご参加ください。なお、生活応援サポーターの登録は任意です。

開催回			第13回	第14回
内容及び開催日等	1 日 目	【趣旨説明】	[生活支援で人にやさしいまちづくり]	
		【講義1】	[先輩から学ぶ生活支援の実際] ～一人の困ったに寄り添う支え合いの仕組み～	
		【活動発表】	[あさひ生活応援サービスについて] ～生活応援サポーターの活動発表～	
	2 日 目	【講義2】	[生活リハビリで介護予防] ～ふだんのくらしがリハビリに～	
		【交流会】	[私たちができる助け合いって何だろう] ～ゲームで“たすけあい”をイメージ!～	
	3 日 目	【講義3】	[生活支援の場面で求められるコミュニケーション] ～相手も自分も心地よく～	
【修了式】		[修了証書授与]		
各開催回の申込受付期間			6月4日(金)～ 10月7日(木)	10月8日(金)～ 令和4年1月26日(水)

会場 保健福祉センター4階シアタールーム

開催時間 午前10時～正午

定員 先着15人

申し込み方法 社会福祉協議会に電話または直接

【申し込み及び問い合わせ先】生活支援コーディネーター業務担当(森島・鶴見・吉川) TEL 55-7071(直通)

ボランティアセンターからのお知らせ

利用時間 午前9時～午後5時 ※土・日曜日、祝・休日を除く TEL 51-5535 FAX 51-5543
尾張旭市渋川町三丁目5番地7 渋川福祉センター内

令和3年度災害ボランティアコーディネーター養成講座の日程等は下表のとおりです



と き	10月16日(土)午後1時～4時
と ころ	スカイワードあさひ 6階 ひまわりホール
内 容	講義 「災害ボランティアセンターの機能と役割」 講師:認定NPO法人 レスキューストックヤード 常務理事 浦野 愛 氏
	活動報告 「コロナ禍における災害ボランティアセンターの運営について」 報告者:社会福祉法人 人吉市社会福祉協議会 事務局次長 速永 同志子 氏
	演習 「災害ボランティアセンターのレイアウトを考えよう」 講師:認定NPO法人 レスキューストックヤード 常務理事 浦野 愛 氏
定 員	先着25人
参加費	無 料
申し込み方法	社会福祉協議会に電話または直接

令和3年度ガイドヘルプ ボランティア養成 講座を開催します



視覚障がいによって外出が困難な方が安心・安全に外出できるようにサポートするガイドヘルプボランティアを養成します。

ぜひ、この機会にガイドヘルプのボランティア活動をはじめませんか。たくさんのかたのご参加をお待ちしています。

と き	10月12日(火)、19日(火)、26日(火) いずれも午前10時～正午
と ころ	渋川福祉センター 1階 会議室
内 容	第1回 講義 「視覚障がい、ガイドヘルプについて」
	第2回 演習 ガイドヘルプを体験してみよう!
	第3回 ワークショップ いっしょに行きたい!プランを立てよう
講師など	講師 愛知視覚障害援護促進協議会 事務局長 山本 潔 氏 福祉実践教室講師 北原 祥爾 氏
定 員	先着20人
参加費	無料
申し込み方法	社会福祉協議会に電話または直接

ボランティア サロンのご案内



ボランティアセンターでは、ボランティア活動に興味をお持ちのかたや、すでに活動をされているかたを対象に「ボランティアサロン」を右表のとおり毎月1回開催していますので、ぜひご参加ください。

なお、定員を超えた場合は、抽選になることがあります。

○申し込み及び問い合わせ先

渋川ボランティアセンター

<8月・9月・10月のボランティアサロン>

と き	8月18日(水) 午後1時30分～3時	9月9日(木) 午前10時～正午	10月14日(木) 午後1時30分～3時
と ころ	渋川福祉センター 3階 運動室	渋川福祉センター 1階 ボランティア室	渋川福祉センター 1階 集会室
内 容	じいじとあそぼ!!	布おもちゃをつくろう ～手のひらサイズの うさぎ人形～	免疫力を高めて 冬に備えよう!
講 師	男性ボランティア 活動研究会	ToyToy	尾張旭市健康づくり 食生活改善協議会
参加費	無料	300円	無料
定 員	おやこ20組	10人	10人

ボランティア保険のご案内

ボランティア活動保険は、国内におけるボランティア活動中にボランティア本人がケガをした場合(病気は補償

の対象外)や、他人に対して損害を与えたことにより、損害賠償事故が発生した場合などに幅広く補償します。

また、ボランティア団体などが主催する行事参加中に参加者が事故で

ケガをした場合(熱中症・食中毒も対象)や、主催者が法律上の賠償責任を負った場合を保証する、ボランティア行事用保険もあります。ぜひご加入ください。

福祉マインドフェア尾張旭2021の中止について

8月7日(土)午前10時から渋川福祉センターにおいて、福祉マインドフェア尾張旭2021の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止させていただくこととしました。

参加を予定または、検討されていた皆さんに大変ご迷惑をおかけしますが、何卒、事情をお汲み取りいただき、開催中止にご理解くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

ボランティア連絡協議会(ボラ連)とはどんな団体?

ボラ連は、ボランティアセンター登録団体の有志が助け合い、ボランティア活動の輪を広げ、地域福祉の向上を目指すことを目的に平成3年に結成し、今年度創立30周年を迎えました。

現在は福祉活動や青少年健全育成、まちづくりなどを推進する22団体が加入し、協力・連携しながら本市のボランティア活動の活性化を図っています。

活動の一例	他市町との交流	東尾張ブロックボランティア集会への参加、視察研修会の実施、瀬戸・尾張旭ボランティア交流会の開催
	ボランティア行事の開催	福祉マインドフェア尾張旭の開催
	広報啓発活動	広報部会の開催、ボラ連広報誌「ボランティア尾張あさひ」の発行

令和3年度ボラ連顧問・役員(敬称略)

顧問	大塚 宏子 収集グループあさがお会
会長	丹羽 睦 音訳グループあけぼの会
副会長	長谷川 裕子 日本赤十字社尾張旭市地区奉仕団
副会長	伊藤 美佐子 うさぎの会
書記	平野 静子 尾張旭市更生保護女性会
会計	鈴木 善子 あさひ歌謡会
監査	岡本 京子 ガールスカウト愛知県第99団
監査	小室 みさ子 手話グループ手と手の会

※任期は、令和4年度まで

校区社会福祉推進協議会(校区社協)とはどんな団体?

校区社協とは、暮らしの中にある地域の福祉課題に対して、そこで暮らす住民の地域の「つながり」を活かしながら取り組む住民主体の組織です。

本市には小学校区ごとに9つの校区社協があり、それぞれの地域に応じて、自分たちの生活する地域の

福祉課題やニーズをとらえ、自主的・主体的に住みよい福祉のまちづくりに取り組んでいます。さらに、9校区社協が連携を図るとともに情報共有するための合議体として、校区社会福祉推進連絡協議会(校区連協)を組織しており、今年度創立30周年を迎えました。

活動の一例	地域交流活動	地区住民の相互のふれあいを目的としたイベントなどの開催
	在宅福祉活動	高齢者や親子などのサロン事業、高齢者の訪問・見守り活動
	広報・啓発活動	地区住民への福祉の理解や活動への参加を促進する活動、広報紙の発行、福祉講演会など
	関係団体による福祉活動への協力	共同募金運動などへの協力、福祉施設や学校等地域行事への参加・協力

令和3年度校区連協役員(敬称略)

会長	森 喜美 旭丘校区社会福祉推進協議会会長
副会長	野村 治 白鳳校区社会福祉推進協議会会長
副会長	若杉 満 城山校区社会福祉推進協議会会長
副会長	森 繁美 三郷校区社会福祉推進協議会会長
書記	塚本 恭久 渋川校区社会福祉推進協議会会長
書記	長岡 啓一 東栄校区社会福祉推進協議会会長
会計	三浦 義文 旭校区社会福祉推進協議会会長
監事	加藤 守松 瑞鳳校区社会福祉推進協議会会長
監事	佐藤 信男 本地ヶ原校区社会福祉推進協議会会長

※任期は、令和4年度まで

福祉のまちづくり推進助成事業対象団体を決定



赤い羽根共同募金を財源とする福祉のまちづくり推進助成事業対象団

体を決定しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、公開プレゼンテーションによる助成審査会を中止としましたが、愛知県立大学教育福祉学部准教授松宮朝

氏をはじめ4人の審査委員で書面による審査を行いました。

助成金は、下表のとおりこどもから高齢者まで、地域に根差した福祉活動に幅広く活用していただきます。

令和3年度 福祉のまちづくり推進助成事業 助成金額一覧表

団体名	事業名	助成金額(円)
要約筆記OHPひまわり	UDトークによる情報量の確保	80,000円
男性ボランティア活動研究会	じいじとあそび	80,000円

知るサポだより

No.25

～尾張旭市地域包括支援センター～

新型コロナウイルス 感染症の感染対策を 考えよう

感染経路は次の3つです。

- ①**接触感染**:ウイルスのついた手を鼻や口にもっていき、触れると感染します。
- ②**飛沫感染**:咳やくしゃみの飛沫は2～3mくらい飛びます。この飛沫を吸入して感染します。
- ③**マイクロ飛沫感染**:換気の悪い空間で飛沫が床に落ちずに短時間だが空間内に停留して感染します。

感染経路を考えて対策をしましょう。

●接触感染を予防するには、石鹸、流水による手洗いまたは、アルコール消毒が大切です。ポイントは「石鹸などで10秒もみ洗い後、流水で15秒すすぐ。」これを2回繰り返すと、さらに効果的です。また、普段からの手洗いに「顔を触る前」「ものを食べる前」には必ず手洗いをしましょう。

環境への消毒は拭き取りが効果的な方法です。消毒剤を噴霧するだけではウイルスは死滅せず、しっかりふき取ることが大切です。消毒剤は70～80%の消毒用アルコールもしくは次亜塩素酸ナトリウム(ハイターで作れます。次亜塩素酸水とは違うもの)を使いましょう。次亜塩素酸ナトリウムの作りかたは、厚生労働省HP「新型コロナウイルス対策身のまわりを清潔にしましょう。」を参照ください。

また、当センターでもチラシを配布しています。

●飛沫感染は手洗い、換気、マスクで予防できます。暑い、息苦しいときは、人と2メートルの間隔を空けて、マスクを外して休憩しましょう。

また、飛沫感染しやすい場面は食事です。マスクを外した時は会話を控え「黙食」が勧められています。

●マイクロ飛沫感染は3密を避けることで予防できます。3密は、密閉空間(換気の悪い密閉空間)、密集場所(多くの人が密集している)、密接場面(互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる)をいいます。換気が悪いとマスクやソーシャルディスタンスも全く無意味になります。窓、ドアを1時間のうち5分間は開けるようにしましょう。また広い場所で活動することが大事です。

感染対策は、手洗い、3密を避ける、ソーシャルディスタンス、マスク、換気の組み合わせをしましょう。

外出しにくい状況ですが、感染対策をして気をつければ、外出や人との交流で感染する危険はほぼないと言われています。閉じこもりによってフレイル(虚弱)の状態にならないように、感染予防をしながら、散歩や体操などをして友人とも上手に交流しましょう。

また、体調が悪いときは、仕事を休むなど外出を避け人と会わないようにしましょう。発熱した場合、まずはかかりつけ医に電話で相談しましょう。

認知症カフェ「かたろ～な」だより



令和3年4月22日(木)、城山小学

TEL 55-0654(直通)

校区に認知症カフェ「かたろ～な」の市内4か所目となる平子ふあんふあんがオープンしました。

平子ふあんふあんなは認知症のかたやそのご家族、地域にお住いのかた、認知症に関心のあるかた、医療関係のかた、福祉関係のかたなど誰でも気軽にお越しいただき、淹れたてのおいしいコーヒーを飲みながら、おしゃべりを楽しんだり、介護の悩みや困りごとなどの相談もできる、認知症のかたと地域のかたをつなぐ場所となることを目指しています。

楽しい仲間とゆったりとした時間を過ごしましょう!

平子ふあんふあん

【場所】

コーヒーハウスひまわり

【住所】

平子町中通279番地2

【日時】

毎月第4木曜日午前10時～正午

【参加費】

ドリンク300円から

また、認知症カフェ「かたろ～な」では、開催のお手伝いをしていただけるボランティアを募集中です。ご興味のあるかたは地域包括支援センターまでご連絡ください。

○問い合わせ先:地域包括支援センター

地域包括支援センターは、 高齢者の総合相談窓口です

地域包括支援センターは、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、主任介護支援専門員、保健師、社会福祉士などの専門職がチームとなって総合的に高齢者を支える機関です。

- 健康・福祉・介護など総合的な相談に応じます。
- 介護予防を進めます。
- 高齢者の権利を守ります。
- 認知症のかたや介護する家族への支援を行います。

健康・福祉・介護などでお困りのことがありましたら、困りごとは一りで抱えず、ぜひ地域包括支援センターにご相談ください。相談は無料です。

地域相談窓口を設置しています

地域包括支援センターのほかに、市内には地域の身近な場所で相談を受け、適切な支援につなぐ地域相談窓口を、一覧表のとおり各社会福祉法人が受託し設置しています。

お近くの窓口お気軽にご相談ください。

地域相談窓口	住所	電話番号	担当地区
敬愛園	尾張旭市平子町長池上6447番地1 (特別養護老人ホーム敬愛園内)	53-9507	城山・白鳳 小学校区
アメニティあさひ	尾張旭市旭ヶ丘町濁池1155番地18 (特別養護老人ホームアメニティあさひ内)	51-5222	東栄・旭丘 小学校区
サンヴェール尾張旭	尾張旭市南栄町黒石48番地1 (特別養護老人ホームサンヴェール尾張旭内)	52-2992	旭・渋川・三郷 本地原・瑞鳳 小学校区

敬老肖像写真を贈呈します



▲昨年贈呈した樋沢様ご夫妻

赤い羽根共同募金の配分金事業の一つとして対象の希望者に、長寿を祝い、敬老の日に合わせて肖像写真を贈ります。

- 申し込み及び問い合わせ先
社会福祉協議会

対象者や写真内容など

対象	①昭和6年生まれで今年満90歳を迎えるかた ②どちらかが昭和16年生まれで今年満80歳を迎え、二人とも80歳以上となられるご夫婦 ※市内に居住し、①②ともにご自宅で写真撮影可能なかたに限りです。				
写真内容	①の対象者 四つ切りサイズ(25.4cm×30.5cm)・カラー・アルミ製額 ②の対象者 半切サイズ(35.6cm×43.2cm)・カラー・アルミ製額				
実施方法	8月中旬に自宅にて撮影し、「敬老の日」までにお届けします。				
費用	無料	申し込み方法	電話または直接	申し込み期限	7月26日(月) ※土・日、祝・休日を除く

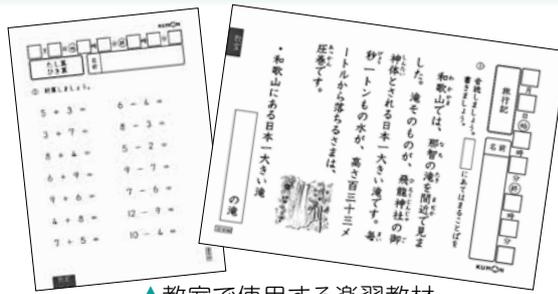
脳トレで認知症予防「脳の健康教室」でらくらく楽習

今年度は水曜日に開催!

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

東北大学加齢医学研究所所長川島隆太氏が提唱する「読み書き」「計算」「すうじ盤」の教材を使った脳の健康教室を開催します。

脳のリフレッシュのため、教材を利用した楽習だけでなく、毎回教室サポーターによるおもてなしと交流会もあります。



▲教室で使用する楽習教材



「すうじ盤」も脳を活性化します

と き	9月1日(水)～令和4年1月12日(水)毎週水曜日(全18回)午前10時～11時30分 ※11月3日(水)・12月29日(水)を除く		
と ころ	尾張旭市保健福祉センター(シアタールーム)		
内 容	「読み書き」「計算」「すうじ盤」や教室サポーターによるおもてなしと交流		
対 象 者	市内在住の65歳以上のかた	定 員	先着12人
参 加 費	8,800円(月額2,200円×4か月)		
申し込み方法	社会福祉協議会に電話または直接	申し込み期限	8月20日(金)まで ※土・日、祝・休日を除く
そ の 他	ご自身の変化を確認していただくため、受講前と12月の教室時間内に、脳の健康チェックテスト「あたまの元気まる」を受検していただけます。		

赤い羽根協力店を募集します

10月1日から始まる赤い羽根共同募金の一環として、募金箱の設置などにより、募金活動にご協力いただける「赤い羽根協力店」を募集しています。

○ご協力いただく内容

- ①募金箱を年間通して設置
- ②店頭「協力店」のステッカーを表示
- ③10月1日から翌年3月31日までの共同募金期間中にポスターを掲示



○申し込み及び問い合わせ先 尾張旭市共同募金委員会 Tel.54-4540

赤い羽根協力店の紹介 (順不同・敬称略)

現在、ご協力いただいている協力店を紹介します。

【旭前町】

- ・竹亭
- ・イーストヒル

【新居町】

- ・四季亭 尾張旭店
- ・らーめんなごみや 尾張旭駅前店
- ・かつ星
- ・ピッツェリア・マリノ 尾張旭店
- ・珈琲屋らんぷ 尾張旭店

【印場元町】

- ・かつ雅 尾張旭店
- ・喫茶 棒の手
- ・諭吉のからあげ 名古屋本店

【上の山町】

- ・鈴松 本店

【大字新居】

- ・ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場

【柏井町】

- ・さもと館

【北原山町】

- ・金寿司

【北本地ヶ原町】

- ・あいち尾東農業協同組合 尾張旭産直センター
- ・台湾料理萬来館 晴丘店

【三郷町】

- ・秋田屋呉服店
- ・スナック橘
- ・Snack有蘭
- ・有限会社 サカエ

【渋川町】

- ・ハンプティアー・ダンプティアー
- ・ベッセル
- ・南風 尾張旭店

【城山町】

- ・旭城レストハウス

【瀬戸川町】

- ・ジョブウェル

【東栄町】

- ・モスバーガー 旭三郷店
- ・ル・モンド

【西大道町】

- ・活人堂

【西山町】

- ・英 四軒家店

【東大道町】

- ・あいち尾東農業協同組合 尾張旭グリーンセンター
- ・カメヤマ酒店
- ・おり紙・和紙の店 ふた美
- ・カフェ&パスタ パパス
- ・台湾料理萬来館 尾張旭店
- ・ぱんやさんkiki
- ・コメダ珈琲店 尾張旭店
- ・ベーカリーレストランサンマルク 尾張旭店

【東本地ヶ原町】

- ・江戸芝鮎

【南新町】

- ・喫茶 サーモン

【南本地ヶ原町】

- ・高砂ベルシュ
- ・ゆで作

【東大久手町】

- ・支留比亞珈琲店 森林公園通り店

こんなとき、こんなお金をぜひ、**社会福祉協議会**へご寄付を!!

- 福祉のために役立てようと思ったとき
- 会社や商店の開設、開店などの記念事業の一部
- お祝い事、香典の一部
- 同窓会等の残金、各種チャリティーバザー

善意のご寄付ありがとうございます

「福祉に役立ててください」と、たくさんの善意が寄せられました。皆さんにご報告するとともに、厚くお礼申し上げます。

■一般寄付 3月9日～6月11日 (順不同)

寄付者名/寄付金額(単位:円)	
内田 正子 様(北原山町)	4,048
尾張旭市ゴルフ協会 様	76,000
大竹 道江 様(狩宿町)	220,000
大竹 良寿 様(狩宿町)	100,000
名古屋ヤクルト販売株式会社 様	26,255
匿名(6件)	623,637

■物品寄付

寄付者名/物品名・数量	
加藤 実 様(東名西町)	紙オムツ1袋
白鳳校区社会福祉推進協議会 様	車いす2台
たいようの会 様	ぞうきん57枚
イトーヨーカドー 尾張旭店 様	雑貨10点
匿名(8件)	紙オムツ39袋、尿とりパッド19袋

※物品の状態によっては受け取りできない場合がありますのでご了承ください。

新型コロナウイルス感染症に伴う社会福祉協議会(関係団体含む)の事業について

新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、できる限りの対策を講じながら各種事業を行いますが、今後の状況の変化によっては内容を変更する場合や、開催を延期または中止する場合がありますので予めご承知おきください。

※記載の内容は記事編集時点でのものです。最新の情報は、本会ホームページをご覧ください。

「社協だより 尾張あさひ」 〔広告掲載のご案内〕

社会福祉協議会の広報紙「社協だより 尾張あさひ」に広告を掲載してみませんか?

令和3年度秋号(10月発行)に掲載の広告を募集します。

問い合わせ先 **社会福祉協議会**